

事業所名

Cuddle

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

4 日

法人（事業所）理念		子どもが温かく愛情に包まれた環境で過ごせるよう、保護者の方々のサポートを行いながら、子どもが成長できる場を提供していきます。		
支援方針		子ども同士のコミュニケーションを促す活動を主に行っていきます。 職員がサポートを行いながら、安心して他者とのコミュニケーションを図る機会を得られるように支援していきます。		
営業時間		(平日)10:00～19:00 (土曜日・長期休暇中)9:00～17:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	子どもの心身の健康状態の維持と改善を目的とした支援を行います。 ○来所時には検温を行い、健康状態を把握します。またスキルトレーニングを通して自ら健康管理を出来るように支援していきます。 ○自分の持ち物の扱い方、整理整頓の方法について教え、自立に向けた支援を取り入れていきます。 ○日々のスケジュールを、ホワイトボードを用いて自己管理を促進していきます。		
	運動・感覚	姿勢や運動能力、動作の向上を目的とした支援を行います。またスポーツ活動、体操の他に指先を使う工作活動を通して「視覚」、「聴覚」、「触覚」などの感覚統合を目指します。 ○ボール遊びや縄跳びなどの屋外での遊びを通して身体を動かす習慣を身につけていきます。 ○室内では、バランス感覚や指先の微細運動を取り入れ、集中力を養う活動を取り入れていきます。		
	認知・行動	子どもの思考パターンの幅を広げ、その場に適した行動を行えるように支援していきます。 ○教材を使用し、個別活動や集団を通してSSTを行っていきます。 ○職員の見守りのもと毎日の活動を行い、危険が予測される場面では振り返りを行う事で危険認知の意識を持てるよう支援していきます。		
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション能力に焦点を当て、他者との円滑なコミュニケーションを図れるように支援していきます。職員やお友達との会話を通して、コミュニケーションスキルの向上を目指します。 ○教材を用いて、SSTを行っていきます。 ○不適切な言葉や表現に対しては、その場に応じた適切な気持ちの伝え方について支援していきます。 ○自分の気持ちや意見を伝えられるように、適切な言葉や表現方法を伝えていきます。		
	人間関係 社会性	他者との関りの形成や自己の理解と行動の調整、仲間づくりの大切さや集団活動の参加への楽しさを育むことを目的とした支援を行います。集団で過ごす機会を増やししながら、一人遊びから集団遊びへと移行することにより、役割やルールなど社会生活に必要な発達支援を行います。 ○集団での活動を通して、他者と関りながら互いにディスカッションの場を設けていきます。 ○買い物体験や公共施設の利用などを通して、社会性を育む活動を取り入れていきます。 ○SSTを通して自己理解を深め、また他者の気持ちや考えを想像する事で社会性を向上させていけるように支援します。		
家族支援		○送迎時に一日の様子をお伝えし、連絡帳をLINEで送信して情報共有を行っております。随時、ご家庭や学校でのお困りごとへの相談は受け付けております。 ○定期的に保護者会を開催し、日頃の様子を共有させていただいております。	移行支援	○地域社会に参加しやすい環境を整えるため、必要に応じて関係機関との連携を行います。 ○関係機関との担当者会議に参加し、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。
地域支援・地域連携		○図書館、体育館、市民プール、近隣の公園やグラウンドを活用し、活動を行っております。 ○地域の学校や関係機関と連携し、包括的な支援体制を整えております。	職員の質の向上	○支援の質を向上させるため、定期的に職員に対し研修を行っております。また外部研修や勉強会に参加をしております。 ○職員の専門性向上の為に、資格取得に関わる費用を補助しております。
主な行事等		○季節の行事(初詣、節分、お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス会など) ○クッキング、工場見学、プール活動、いちご狩り、買い物学習、体験学習、外部講師を招いてモノづくり体験など ○防災訓練(避難訓練、火災訓練、津波訓練)		